

# 宇治支援学校の言葉

ウジシエンガッコウのことば

平成24年度 No.4 12/20発行

京都府立宇治支援学校

〒611-0031 京都府宇治市広野町丸山10  
TEL 0774-41-3701 / FAX 0774-45-2220

## 2学期を終えて ～喜びもう一つ～

たくさんの桜の花びらに囲まれてスタートした平成24年度も2学期を終えることとなりました。

いつも宇治支援学校の教育に御理解と御支援をいただきありがとうございます。

春、夏、秋、冬と季節は移ろいますが、今年は秋を感じる事が少なかったように思います。そんな短く感じた秋でしたが、子どもたちはそれぞれに実りを得た2学期だったと思います。実りの一つ一つを子どもたちと教員、保護者の方々とともに共有していきたいと思っています。

2学期の様々な活動の中で、うれしかったことの一つを紹介します。

11月に開催した「総合文化祭「うじ えん-JOY フェスタ」」にお隣の「広野幼稚園」のかわいい園児の皆さんが参加し、本校の子どもたちと京都産業大学の学生さんの吹奏楽の演奏を楽しみました。そのひとときの中では、本校の生徒が自然に園児の皆さんを相手にゲームをしたり、生徒達が持つバルーンを楽しむなどの姿がありました。

また、今月には、高等部生徒が校門まで野菜の販売をしていると、かわいいお客さんがやってきて野菜を買ってくれました。幼稚園の買い物学習の一貫だったそうです。

そうした場面で生徒達は、自分達の身近な弟や妹と接するように、ある面、大人以上に子ども目線で自然に園児の皆さんに接している姿を見ることができました。

お隣同士、ともに育ち合い、喜び合い、関係を発展させていきたいと願っています。

広野幼稚園の皆さん、ありがとうございました。

冬休みは、風邪や胃腸をこわす病気が流行する季節でもあります。健康管理には十分に留意していただき、楽しく冬休みを過ごし、元気にあたらしい年を迎えてください。

3学期の始業式、元気な子どもたちの姿を楽しみにしています。



生徒とバルーンを楽しむ



かわいいお客さん



心とみます「やまなみ工房」

校長 澤田 均



# 地域学習の取組紹介

宇治支援学校の言葉  
ウツエカッゴウのこたば

卒業後、地域で働くこと・生活することを旨し、地域とつながった活動を積極的に取り入れた学習を進めています。



## リース作りとクラフト工作で交流(小学部)

地域で活動されている「白川里山クラブ」の方と4～6年生の児童が交流をし、自然素材を使ったリース作りとクラフト工作を体験しました。どんぐりや特大サイズの松ぼっくりなどずらっと並んだ材料の中から好きな物を自由に選び、目玉やビーズをポンドで貼り付けて素敵な作品を作りました。「白川里山クラブ」の方に作り方を教えてもらい、思い思いの作品を完成させ楽しい交流となりました。

## スポーツフェスタで交流(中学部)

「中学部スポーツフェスタ」では、卒業後も楽しめるようなスポーツを体験することと、仲間や地域の方々と一緒に楽しく交流することを大切にしました。当日に向けて、ポスターを作成して近くの商店に掲示依頼をしたり、家族に招待状を作成し郵送したりもしました。

今年度、サッカーは「京都文教大学女子サッカー部」と、グラウンドゴルフは「広野東喜老会」の方々と一緒に行い、歓声や笑顔で溢れたフェスタとなりました。



## 地域貢献をとおして交流(高等部)

「地域清掃」1学期に続いて地域の公園清掃に取り組んでいます。2学期からはくらし地域コース3年生も実施。地域の方と一緒に活動することで、直接「ありがとう」の言葉をいただき、やりがいを持って取り組みました。

「苗木植樹」木津川右岸運動公園（仮称）森づくりグループの苗木の里親植樹支援の活動に今年も参加しました。地域のボランティアの方とともに、公園に苗木を植え付けました。

## 京都サンガF.C.との交流(球技部)

部活動「球技部」に所属している中学部・高等部生徒が活動の一環として、京都サンガF.C.のコーチによる「サッカー教室」を体験しました。プロのコーチの専門的でユニークな指導に生徒たちはすぐに引き込まれ、気がつけば汗だくになって動いていました。スポーツのすばらしさと奥深さを、生徒も教員も体感することができた取組となりました。



## 京都府スーパーサポートセンター

### ～相談をかたちに～

継続した丁寧な相談を心掛けて取り組んでいます。相談の中で見えてきた具体的な支援が日々の学習や生活に活かしていただけるよう、そして有効な支援が次年度もあるいは他の関係機関にもつながるよう、以下の取組も進めています。

#### ○『支援(仮)ファイル』の取組(地域支援センターうじ)

地域支援センターうじで『支援(仮)ファイル』を作りました。市毎の支援ファイルが作成・定着されるまでの期間使っていただく、お子さんの成長とサポートの軌跡を詰め込むファイルです。地域支援センターうじが関わった相談のうち、保護者が希望されたお子さんに、発達検査報告等の資料をこのファイルに収めてお渡ししています。当該の学校にも御理解を得つつ進めています。医療や福祉等関係機関を利用される際に御活用いただければと考えています。

#### ○『高等学校における個別の指導計画票』の作成(京都府スーパーサポートセンター)

府内の各地域支援センターと協働して作成し、府内の高校に提供します。学習や学校生活、対人関係で悩んでいる高校生がうまく学び生活できるため、また、保護者や先生方がうまくサポートできるための支援ツールのひとつになればと思っています。